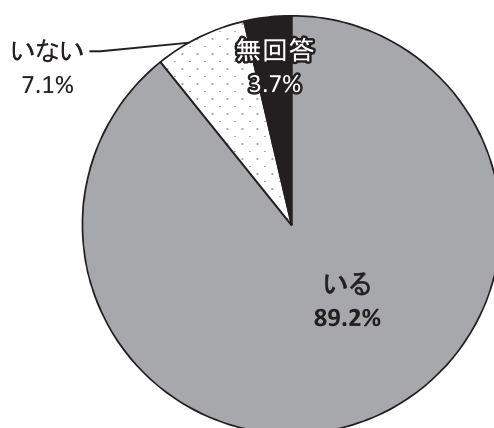


(9) 兄弟姉妹の有無

兄弟姉妹については、「いる」が 89.2%である(図表 11)。

図表 1 1 兄弟姉妹の有無



2. 介護と仕事の両立状況

(1) 介護の経験

現在介護に従事している割合は 7.8%である。三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング「仕事と介護の両立に関する実態把握のための調査研究（労働者調査）」（※）によると、40代および50代の男女正社員それぞれ 1000人（計 2000人）を対象に親の介護状況を調査した同調査結果では、調査当時に介護を担っている割合は男性が 14.4%、女性が 10.7%となっている。同結果に比べ、本調査の結果は若干低めだといえる（図表 12）。また、図表 12 の表中にある「WLB 取組先進企業調査」の結果と比較しても、本調査結果の割合は低い。本調査における「介護」の範囲やかかわり方は回答者に任せており厳密に限定していない。それを踏まえても、本調査における現在介護に従事している割合は相対的に低く、過去の介護経験者を含めても 14.5%である。

男女別では、女性の方が「現在介護をしている」、「過去に介護をしていた」とともに男性よりも若干高い割合となっている。当該結果は、先行研究の結果と整合的である。育児だけでなく、介護においても女性が担う傾向にあるといえる。

仕事内容別では、大きな違いは見られないが、「製造・運輸などの現場の仕事」の従事者は他の仕事従事者に比べ、介護経験の割合が低い。仕事内容別に所属従業員の平均年齢およびその偏差を確認したが、他の仕事内容に従事する者と大きな違いは見られないものの、配偶者の有無については、他の仕事内容従事者が 8割前後であるのに対し、「製造・運輸などの現場の仕事」従事者は 74%と低い。また、配偶者がいる場合も、短時間勤務の非正規社員の割合が高い。家計の比較優位の観点から「製造・運輸などの現場の仕事」従事者は、自身が介護に参加していないことが考えられる。

年齢については、回答者の年齢と現在の介護従事者の割合には相関関係にあり、年齢が高くなると介護に従事する割合が高くなっている（図表 12）。

（※）厚生労働省委託事業、2013年3月

図表 1 2 介護の経験

		問3. 介護の経験 (SA) (※)			介護経験あり (1+2)
		1 現在介護をしてい る	2 過去に介護をして いた	3 介護をした事はな い/していない	
全体	9523	7.8%	6.7%	85.5%	14.5%
男性	8805	7.7%	6.5%	85.9%	14.1%
女性	718	9.7%	9.5%	80.8%	19.2%
専門的な仕事	817	9.4%	8.8%	81.8%	18.2%
技術的な仕事	2056	9.3%	7.8%	82.9%	17.1%
事務の仕事	1417	9.5%	7.8%	82.7%	17.3%
販売・営業・サービス、その他	661	8.2%	8.2%	83.7%	16.3%
製造や運輸などの現場の仕事	4572	6.3%	5.3%	88.5%	11.5%
一般社員	3031	6.9%	5.7%	87.4%	12.6%
組長・班長・助役クラス	2130	7.3%	5.7%	87.0%	13.0%
主任・係長・工長クラス	1900	8.6%	7.5%	83.9%	16.1%
管理職 (課長、部長)	2418	8.9%	8.1%	83.0%	17.0%
その他	44	6.8%	6.8%	86.4%	13.6%
45歳以下	3758	4.1%	4.0%	91.9%	8.1%
46-50歳	2760	8.0%	6.3%	85.7%	14.3%
51-55歳	2043	12.3%	9.9%	77.8%	22.2%
56-60歳	962	12.2%	11.6%	76.2%	23.8%
WLB取組み先進企業 (2015)	6889	9.7%	7.0%	83.3%	16.7%

注：表中の「WLB取組み先進企業調査」とは、中央大学大学院ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクトに参加する企業のうち6社に対し、2014年10～2015年1月に実施した調査を示す。当該企業は首都圏または関西圏を拠点とする大手企業であり、ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティ・マネジメントに積極的に取り組んでいる企業だといえる。

(2) 現在介護に従事している者の介護の状況

「現在、介護をしている」(n=744)と回答した者を対象に、現在の介護の状況をたずねている。

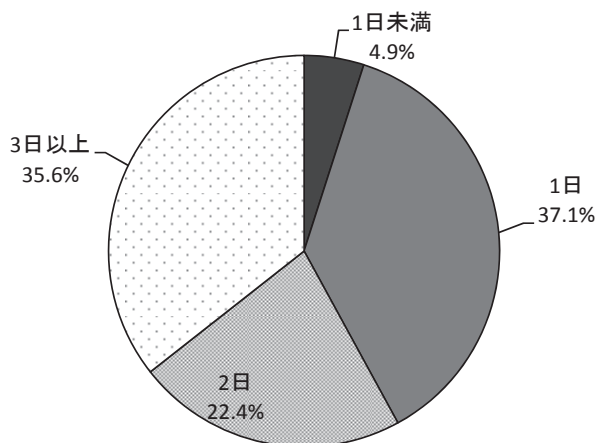
現在介護をしている者の週あたりの介護日数は「1日」が37.1%で最も多く、これに「3日以上」が35.6%と続く(図表13)。平均日数では2.8日/週で週の半分程度は介護に従事していることになる。

次に介護時間を「働いている日」と「休日」に分けてみると、「働いている日」は「1時間未満」が38.7%と最も多く、これに「1時間以上2時間未満」が29.7%と続く。約7割弱の者の就労日における介護時間は2時間未満であることが分かる。しかし、一方で3時間以上(「3時間以上5時間未満」、「5時間以上10時間未満」、「10時間以上」の合計)も18.3%あり、就労後に介護に従事する者も一定割合あることがわかる(図表14)。

(※) 『SA』：単一回答 (Single Answer) の略記、『MA』：複数回答 (Multiple Answer) の略記・・・以降の表記は同義

休日の介護時間は就労日に比べ長くなる傾向がある。たとえば、「3 時間以上 5 時間未満」は、就労日は 11.1%であるが、休日は 27.4%と 16.3%ポイント高くなるほか、休日に 3 時間以上介護をしている者は 54.5%と半数を超える（図表 14）。このことから、現在介護に従事している者は休日に休息をとることが難しいことがわかる。なお、「働いている日」の平均介護従事時間は 1.6 時間、「休日」は 4.0 時間である。

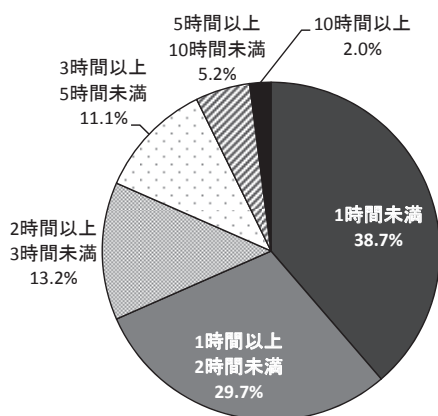
図表 1 3 介護従事者の週あたりの介護日数 (n=728)



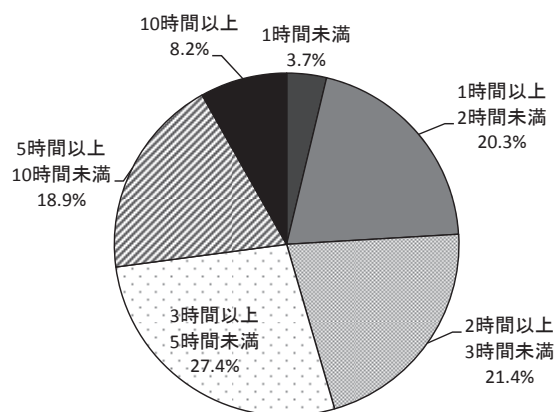
注：「現在、介護している」は 744 人であるが、本設問の無回答者 (n=16) を除いたため n=728 となっている。

図表 1 4 介護従事者の、働いている日および休日の介護時間

働いている日の介護時間



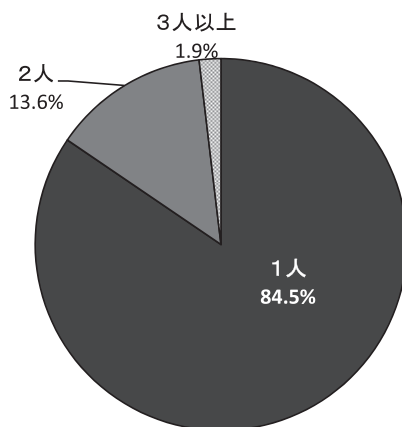
休日の介護時間



注：「現在、介護している」は 744 人であるが、「働いている日の介護時間」については無回答が 152 サンプル、「休日の介護時間」については 2 サンプルあったため、これらを除き集計した。なお、「働いている日の介護時間」のサンプル数は n=592、「休日の介護時間」のサンプル数は n=742 である。

また、介護対象者数については、「1人」が84.5%と最も多いが、複数人を介護している者も15.5%ある(図表15)。介護対象の多くは回答者の「親」(78.0%)であり、回答者が主に介護をしているのも自身の「親」(71.5%)である(図表16)。

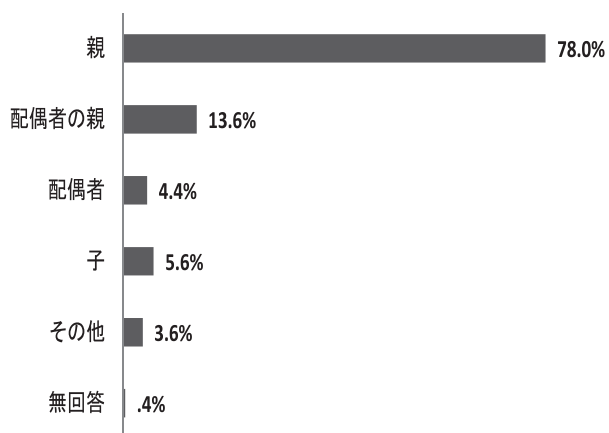
図表15 介護をしている人数 (n=742)



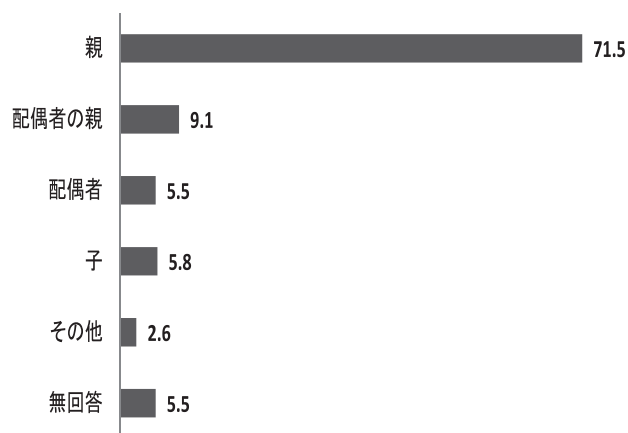
注：無回答 (n=2) を除いたサンプル数で集計

図表16 介護をしている人 (n=744)

あなたが介護している人(MA)



あなたが主に介護している人(SA)



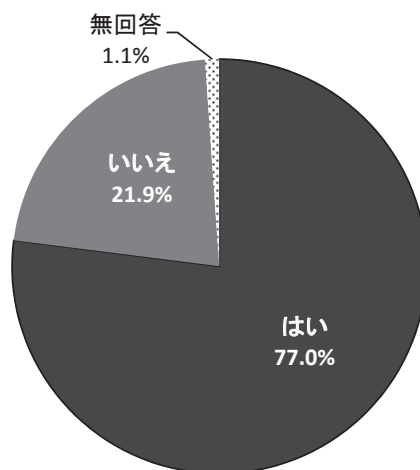
前述の介護対象者の主たる介護者をたずねると、回答者自身である割合は42.7%であった（図表17）。これを男女別で見ると、女性は48.6%と、男性の42.1%に比べ6.5%ポイント高い。さらに役職別で見ると「管理職（課長、部長）」は37.2%と他の職位に比べ主たる介護者である割合は低く、「組長・班長・助役クラス」は49.7%と最も高い⁴。

介護に従事するにあたり、自分以外の介護分担者の有無は働き続けるうえで重要である。図表18は自分以外に介護に従事する人の有無をみたものである。「はい」が77.0%あり、主たる介護者であってもサポート要員がいることがわかる。ちなみに、自分以外に介護に従事する人数は平均で1.6人であった。これからの世代は兄弟姉妹が少ないことを踏まえると、自分以外に介護に従事してくれる人は減少していくと考えられる。

図表17 主たる介護者であるか（n=744）

		問8. 介護をしている方の主介護者ですか（SA）		
		はい	いいえ	無回答
全体	744	42.7%	54.3%	3.0%
男性	674	42.1%	54.9%	3.0%
女性	70	48.6%	48.6%	2.9%
専門的な仕事	77	42.9%	54.5%	2.6%
技術的な仕事	191	38.7%	61.3%	0.0%
事務の仕事	135	43.0%	55.6%	1.5%
販売、営業、サービス、その他	54	50.0%	48.1%	1.9%
製造や運輸などの現場の仕事	287	43.9%	50.2%	5.9%
一般社員	208	41.8%	54.3%	3.8%
組長・班長・助役クラス	155	49.7%	45.8%	4.5%
主任・係長・工長クラス	163	44.2%	54.0%	1.8%
管理職（課長、部長）	215	37.2%	60.9%	1.9%
その他	3	66.7%	33.3%	0.0%

図表18 回答者以外に介護をしている人の有無（n=744）

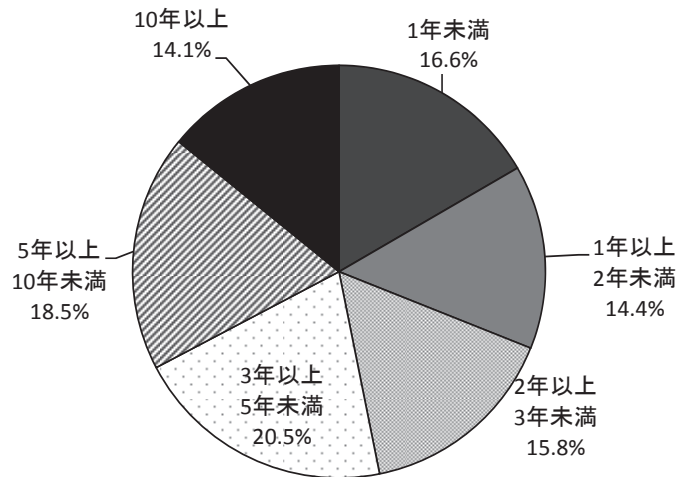


⁴ 表中では「その他」の「はい」の割合が66.7%で最も高いが、サンプル数がn=3と低い。本数値は参考程数値としてみるのが妥当であろう。

(3) 介護期間について

現在、介護に従事する者の介護期間は「3年以上5年未満」が20.5%で最も多く、「5年以上10年未満」が18.5%で続く。また、5年以上介護をしている者（「5年以上10年未満」、「10年以上」の合計）は32.6%で3割を超え、全体の平均は4.7年である（図表19）。同値は先行調査とほぼ同じであり、本調査対象者と全国的な調査との齟齬はない。

図表19 主に介護をしている対象者の介護期間（n=728）



注：無回答（n=16）を除いたサンプル数で集計

(4) 介護の場所

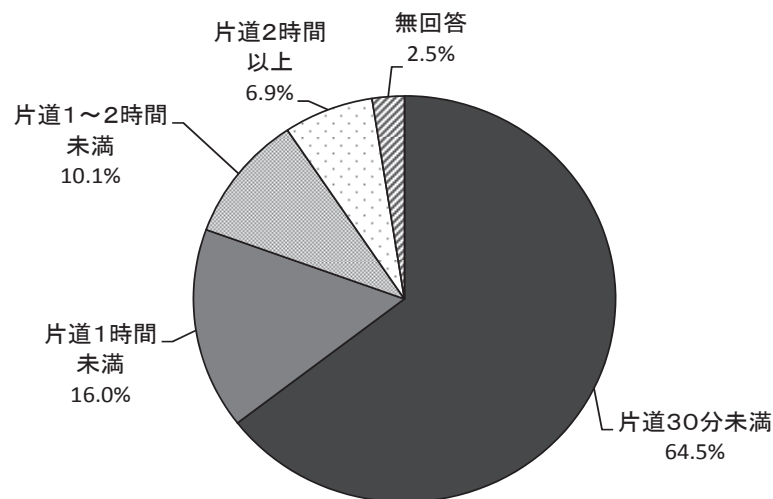
回答者が主に介護をしている対象者の、介護している場所は「あなたの自宅」が44.2%で最も多い。これを性別で見ると、男女ともに「あなたの自宅」が最も多いが、男性は44.7%と女性に比べて4.7%ポイント高い。仕事の内容別では、「製造や運輸などの現場の仕事」に従事する者は他の職種に比べ「あなたの自宅」と回答する割合が高い。また職位別では、「管理職（課長・部長クラス）」は「あなたの自宅」の割合が32.1%と、他の職位に比べて低い割合となっている（図表20）。

次に、「あなたの自宅」以外で介護をしている人に介護の場所までの所要時間をたずねたところ、「片道30分未満」が64.5%であった。介護対象者が比較的近隣にいたことがわかる。その一方で、片道1時間以上（「片道1~2時間未満」「片道2時間以上」の合計）とする割合も17%ある（図表21）。

図表 20 介護をしている場所 (n=744)

	n	問13. 介護をしている方の主な介護場所 (SA)							無回答
		あなたの自宅	介護されている方の自宅	親族の自宅	高齢者住宅	病院	介護施設	その他	
全体	744	44.2%	24.5%	6.5%	3.9%	6.7%	13.0%	.7%	.5%
男性	674	44.7%	24.0%	6.2%	3.9%	6.5%	13.4%	.7%	.6%
女性	70	40.0%	28.6%	8.6%	4.3%	8.6%	10.0%	0.0%	0.0%
専門的な仕事	77	39.0%	33.8%	2.6%	3.9%	3.9%	16.9%	0.0%	0.0%
技術的な仕事	191	41.9%	30.4%	2.6%	4.2%	6.3%	14.7%	0.0%	0.0%
事務の仕事	135	43.0%	21.5%	11.9%	5.2%	10.4%	8.1%	0.0%	0.0%
販売、営業、サービス、その他	54	37.0%	37.0%	9.3%	1.9%	0.0%	13.0%	1.9%	0.0%
製造や運輸などの現場の仕事	287	49.1%	17.1%	7.0%	3.5%	7.3%	13.2%	1.4%	1.4%
一般社員	208	51.9%	19.2%	7.7%	3.4%	7.7%	9.1%	1.0%	0.0%
組長・班長・助役クラス	155	50.3%	18.1%	3.9%	3.9%	5.8%	13.5%	1.9%	2.6%
主任・係長・工長クラス	163	45.4%	27.6%	6.7%	1.8%	6.7%	11.7%	0.0%	0.0%
管理職 (課長、部長)	215	32.1%	31.6%	6.5%	6.0%	6.5%	17.2%	0.0%	0.0%
その他	3	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

図表 21 介護の主な場所までの所要時間 (n=406)



(5) 介護と仕事と両立する中で思うこと

介護経験者（現在介護に従事する者、および過去に介護に従事していたもの）を対象に介護と仕事を両立するにあたって感じることを回答してもらったものが図表 22 である。「介護するのが精神的にきつい」が 54.3%と最も多く、次いで「介護することになった当初は、公的介護保険制度等は知らなかった」（48.6%）、「現実的には施設介護を選択せざるを得ない」（47.3%）と続く。また、「介護することになった当初は、介護支援制度は知らなかった」も 32.8%あり、介護に関する公的制度や勤務先の制度の認知が低いことがわかる。そのほか、「介護するのが身体的にきつい」も 34.0%あり、精神的、肉体的に介護が負担となっており、仕事との両立に支援や配慮が必要であることがわかる。

図表 22 介護と仕事の両立で思うこと (MA) (n=1382)

